

○中央大學記事

○御大葬當日に於ける遙拜式 去る二月七日御大喪當

日我中央大學にては奉悼の誠意を表する爲午前十時よ

り校庭に於て教職員初め多數の學生參集して遙拜式を行ひたり先づ花井博士は特に設けられたる壇上に肅々として進み聲も打ちふるひつゝ奉悼文を朗讀し一同遙に殯宮を拜す終つて一同午後三時より宮城前所定の場所に到り夕暗迫るを待つて歸らぬ大御幸を奉送したり尙ほ當日馬場學長より宮中に左の如き奉悼文を奉りたり

昭和二年二月七日

中央大學學長 法學博士 馬場愿治 謹奏

謹ミ奏ス伏シテ惟レハ

大正天皇允文允武至孝至仁 祖訓ヲ紹述シ

皇猷ヲ恢弘シ内ハ國本ヲ培ヒ外ハ隣誼ヲ敦ウシ 先

朝ノ規模次ヲ追ヒ續テ收メ時勢ニ順應シテ措置宜キヲ

制シ治務具ニ張リ皇威丕ニ輝キ國運ノ隆昌振古比ナシ

悉々タル蒼生徳ニ薰シ業ヲ樂ミ君臣義堅ク父子情濃ニ

者ヲ收容することゝ爲りたり

○中央大學學年試験及學生募集 中央大學にては當三
月一日より各科各部共學年試験を開始し同十八日を以
て終了し來る四月一日より大學豫科及専門部の學生を
募集する筈なるが今回は同大學にては昨年八月約三千
坪の新校舎落成したるを以て定員を増加し多數の志望

者ヲ收容することゝ爲りたり

○圖書館報告昭和二年一月中(開館日數十九日)閱覽人員及貸出冊數左の如し

科別	人員	冊數	類別貸出統計
法科	一、六二七人	三、〇五一冊	法律、政治、外交 自一類類至十二類
經濟科	四六二人	八七〇冊	經濟、商工、農業 自十三類至十六類
商科	二七七人	四四八冊	哲學、宗教 十七類
豫科	九六三人	一、八一〇冊	歷史、地理 十八類十九類
研究科	二人	六冊	文學、語學 二十類二十一類
合計	三、三三〇人	六、一八五冊	辭典 二十二類
一日平均	一七五人	三二六冊	理化學 二十類

編著者	書名	寄贈先	冊数	復興局	備考
永野芳夫	論理學概論概要版	三共出版社	六一二冊	特制都市計畫委員會議事速記第六號	編者
中村正一	敬字詩集	平山成信殿	三九七冊	同	
板倉松太郎	民事訴訟法綱要新訂版	巖松堂殿	五二冊	東京市役所商工業課	特別都市計畫委員會常務委員會速記第四號
安達堅造	世界航空の現勢	檜崎敏雄殿	六一八五冊	臺灣督府官房調査課	大正十四年度東京貨物集散調查書
朝鮮總督府鐵道局	大正十四年度年報	同		英領馬來の漁業	同
財政部駐滬調查局	上海貨價季刊中華民國五十年第一第二合刊	同		造幣局長第五十二年報告大正十四年度	同
內務省社會局	大正地震災志上、中、下附圖、寫真全五冊	同		北海道現勢要覽統計市街地信用組合概況大正十五年度	同
平井彦三郎	刑事訴訟法論綱	同		朝鮮總督府	朝鮮要覽昭和二年度
東京市役所	東京震災錄前、中、後寫真帖全四冊	同		長崎市役所	長崎港勢要覽
增井貞吉	經濟上より見たる蘭領印度	同		日本興業銀行調査課	株式會社資本調附各種團申込申請登記
平木章三譯	ホテル讀本全八冊	啓明會殿		臺灣銀行頭取席調査課	日印紡績爭議ニ就テ
後藤朝太郎	長久ノ支那	同		衆議院事務局	衆議院要覽
杉謙二	鳴呼大正天皇	同		衆議院事務局	衆議院要覽
農林省農務局	米穀統計年報大正十四年度	同		衆議院事務局	衆議院要覽
統計局	日本帝國人口動態統計大正十四年度	同		衆議院事務局	衆議院要覽
大藏省理財局	金融事項參考書大正十五年調	同		衆議院事務局	衆議院要覽
雜報				日露協會	日露協會

東京市役所	東京市郊外町村編入調査書(第二案)	編者	殿
簡易保険局	簡易保険局統計年報大正十四年度	同	同
鐵道省	鐵道省年報大正十四年度	同	同
同	日本全國鐵道線路圖大正十四年度	同	同
魯羊	青森縣下北郡地方誌耕地ノ擴張及潰廢ニ關スル調査第二次	同	同
農林省農務局	少年職業指導ニ紹介	同	同
中央職業紹介事務局	比律賓ノ農業教育	同	同
臺灣總督官房調査課	全國公私立中學校ニ關スル諸調査	同	同
文部省普通學務局	大阪毎日新聞社大觀第二十一回臺灣統計摘要大正十四年度	同	同
島屋政一編	外國雜誌重要記事索引七十二號	同	同
臺灣總督官房調査課	調查及資料彙報七十四號	同	同
全國經濟調查機關聯合會	貯金局統計年報大正十三年十四年	同	同
貯金局			
誌名	卷號	冊	發行所
購入雜誌			
法家志林	元二	一	法政大學
財政經濟時報	二四二	一	財政經濟時報社
文部時報	三三〇	二	帝國地方行政學會
三三一			
哲學雜誌	四九〇	二	東大內哲學會
東洋經濟時報	自三三三至三五三	四	東洋經濟時報社
加除在法令臺本	四三三	一	啓文社
現行法規全書追錄	七〇六	二	帝國地方行政學會
學令時報	七〇七	一	帝國地方行政學會
太陽	一五六	一	博文館
法律新聞	自三三〇至三三三	一	法律新聞社
中央公論	四三二	一	中央公論社
實業之日本	四三三	二	實業之日本社
北京週報	自四〇四至四〇七	四	極東信新報社
國際法外交雜誌	六一	二	國際法學會
軍事	三一	一	川流會
社會學雜誌	三二	二	日本社會學會
汽車時間表	二月號	一	鐵道省
陸軍成規類案補修追錄	三三	一	川流會
誌名	卷號	冊	寄贈先
寄贈雜誌			
法學新報	三三	五	法學新報社
法學協會雜誌	三二	一	東京帝大內法學協會
法律及政治	六一	一	明大學會
法學論叢	七一	二	京都帝大法學部
法曹會雜誌	五二	二	法曹會

法學研究	五四	二	慶大内法學研究会殿	正義	三一	二	帝國辯護士協會殿
法律評論	一五〇	二	法律評論社殿	早稻田學報	三三	一	早稻田大學校友會殿
法曹公論	三二	二	日本辯護士協會殿	拓殖文化	三三	三	拓殖大學内拓殖研究会殿
大審院判例集	五二	五	法曹會殿	明治大學學報	二三	一	明治大學殿
行政裁判所判決錄	七〇	四	帝國地方行政學會殿	立命館學誌	一〇二	二	立命館大學殿
三田學會雜誌	三二	一	慶應大學殿	國民法律	一九二	二	國民法律社殿
司法行政彙報	三三	四	判例彙報殿	工業と社會	元	二	東京工業會殿
國民經濟雜誌	四二	一	寶文館殿	我	四三	二	菩提樹社殿
經濟論叢	四二	一	京都帝大經濟學會殿	社會醫學雜誌	四八〇	一	社會醫學雜誌社殿
統計學雜誌	四七	一	統計學會殿	文化農報	五	一	文化農報社殿
會計	二〇	一	日本會計學會殿	國粹	四一	一	國粹社殿
讀書會雜誌	四二	一	滿鐵讀書會殿	研究資料彙報	二一	一	大分高商研究課殿
法律新報	自六 至二〇	三	法律新報社殿	原理日本	二二	二	原理日本社殿
國際時報	二	八	外務省情報部殿	鑄詰時報	六一	一	鑄詰普及協會殿
國論	三一	一	國論社殿	實業の高崎	六	一	高崎商業會議所殿
警察協會雜誌	三七	一	警察協會本部殿	京都の實業	七九	一	京都商業會議所殿
日本及日本人	二七 二八	二	政教社殿	商工月報	二一	一	東京商業會議所殿
社會思想	六二	一	社會思想社殿	稻門經濟	創刊號	一	早稻田大學經濟學會殿
世界の勞働	四二	二	國際勞働局東京支局殿	會報	元	一	外國材木輸入協會殿
國家學會雜誌	四二	一	東京帝大内國家學會殿	日本思想	三二	一	無水庵殿
東亞法政新聞	自六 至七	一	東亞法政新聞社殿	博愛	四六	一	博愛發行所殿
日本警察新聞	自六 至七	四	日本警察新聞社殿	三曲	七二	一	竹友社殿
朝鮮司法協會雜誌	六一	一	朝鮮司法協會殿	公民講座	七	一	實業同志社市民講座部殿

雜報

一七五

蛟龍	元	蛟龍社 殿
島根評論	二八	島根評論社 殿
共存會報	二二	共存會 殿
電氣事業研究資料	一一	電氣事業研究會 殿
ローマ字世界	一一	日本のローマ字社 殿
禁酒の日本	一一	日本禁酒同盟 殿
埼玉及埼玉人	一一	埼玉協會 殿
演説及講演	一一	演説及講演社 殿
日露協會報告	一一	日露協會 殿
法華	一一	法華會 殿
統計時報	一一	内閣統計局 殿
經濟學論集	一一	日本大學商學部 殿
經濟戰線	一一	經濟戰線社 殿
露	一一	關西藝術新聞社 殿
柔港航路案内	一一	日本郵船株式會社 殿
經濟資料	一一	滿鐵東亞經濟調查局 殿
朝鮮	一一	朝鮮總督府 殿
調查資料	一一	東京電氣局 殿
同	一一	同
調查時報	一一	滿鐵庶務部調查課 殿

以上

○基金の拂込ありたる額及氏名左の如し

- 金貳拾圓(自二十五回至三十四回分)
- 稻村藤太郎君
- 今西貞夫君
- 猪飼策二君
- 金五圓(一回分)
- 稻澤庄次郎君
- 金參圓(二回分)
- 稻田周之助君
- 金參圓(五拾錢)(百十八回分)
- 早川濱一君
- 金拾圓(百二十三回分)
- 伴善光君
- 金參圓(十回分)
- 橋本正男君
- 金七圓(自七回至十二回分)
- 千葉彦治君
- 金五圓(四十回分)
- 千葉公贊君
- 金拾四圓(四十九回分)
- 男庭善之助君
- 金拾貳圓(自九回至十一回分)
- 岡田宇之助君
- 金拾貳圓(百四回分)
- 大久保與三吉君
- 大岩勇夫君
- 金貳拾圓(百十二回分)
- 小川忠兄君
- 金參圓(一回分)
- 金壹圓(九十八回分)
- 金五圓(二十七回分)
- 川村彌一郎君
- 金五圓(百十七回分)
- 上内恒三郎君
- 金貳圓(七十九回分)
- 吉田久君
- 金五圓(四十一回分)
- 高木信威君

金拾圓(五回分)	高宮 誠君	金五圓(一回分)	寺田晴雄君
金參圓五拾錢(六十回分)	高野兵太郎君	金參圓(四十二回分)	秋山彌助君
金壹圓(百十九回分)	根津千治君	金四圓(十三回分)	淺沼猪助君
金貳拾圓(九、十回分)	長島 毅君	金五圓(九十八回分)	安達元之助君
金拾圓(四十三回分)	中野勇治郎君	金四圓(七十五回分)	荒井 操君
金四圓(二十六回分)	白井龜太郎君	金五圓(百十一回分)	安達駿三郎君
金貳圓(自三十一回至三十四回分)	黒田義俊君	金拾圓(自四十九回至五十五回分)	芥川兵吉君
金拾貳圓(自六十八回至七十三回分)	山口昇君	金拾貳圓(九十四回分)	青山衆司君
金貳圓(四十六、七回分)	柳川勝二君	金參圓(百十四回分)	赤井定義君
金五圓(四十五回分)	升本重夫君	金五圓(九回分)	佐々木精太郎君
金五圓(二十四回分)	松本伊織君	金五圓(七十八回分)	佐々木清綱君
金四圓(自八十四回至八十七回分)	松下 宏君	金拾五圓(一回分)	齊藤岩次郎君
金貳拾圓(自六十七回至百九十七回分)	丸毛重典君	金五圓(自十七回至二十一回分)	澤村 直君
金貳圓(一回分)	松代六郎君	金參拾五圓(十回分)	三浦義道君
金拾五圓(自三十八回至五十二回分)	藤岡大英君	金五拾錢(五十二回分)	三浦吉兵衛君
金五拾圓(六回分)	福田市太郎君	金壹圓(五十二回分)	三橋市太郎君
金拾圓(自五十五回至六十四回分)	福田喜久司君	金壹圓(七十五回分)	三橋久美君
金壹圓五拾錢(百十一回分)	遠藤源六君	金拾圓(八十五回分)	水町新三君
金壹圓(百十二回分)	遠藤武治君	金貳拾五圓(四十三回分)	水野博徳君
金貳拾圓(三十六、七回分)	遠藤正規君	金參拾圓(十五回分)	七邊格太郎君
金拾五圓(七十六回分)	手代木祐壽君	金參圓(一回分)	志水小一郎君
			志水貞元君

雜報

一七七

金壹圓(百十七回分)
金貳圓五拾錢(八十二回分)
金貳圓五拾錢(五十一回分)

島田鐵吉君
島村他三郎君
廣井辰太郎君

金九拾圓(自二回至十回分)(完)
金壹圓(四十八回分)

關口專字君
杉程次郎君
(以下次號)

一七八